

京都市における地域福祉の取組に関する意識調査

地域福祉の取組に関する意識調査について

この調査は、京都市において地域福祉を推進していくに当たり、市民の皆様のご意見を把握し、貴重な基礎資料とするため、京都市内にお住まいの満20歳以上の方3,000人を無作為に抽出し、アンケートへのご記入をお願いするものです。

地域福祉について

京都市では、世代を超えて人と人がふれあい、住み慣れた地域で共に支え合いながら、安心して暮らせるまちづくりを進めるため、平成21年3月に「京（みやこ）・地域福祉推進指針」を策定し、高齢者をはじめ誰もが、地域で支え合い（共助）、自らの意思に基づき、その人らしい生活が送れるよう住民・公共的団体・行政が協働して、地域福祉推進への取組を進めてまいりました。

京都市では、このたび「京（みやこ）・地域福祉推進指針」を平成25年度に見直すこととしており、このアンケート調査によって皆様からのご意見をお伺いした結果は、今後の地域福祉推進の在り方を検討するための貴重な資料として活用させていただきますと存じます。

【裏面もお読みください】

【アンケート調査について】

- ・別紙のアンケート用紙にご記入いただき、同封の返信用封筒に入れてご返送ください（切手は必要ありません。）。
- ・アンケート用紙、返信用封筒には、お名前やご住所をご記入いただく必要はありません。
- こうした無記名方式のアンケート調査のため、個人が特定されることはありませんので、ご安心ください。
- ・アンケート用紙は、12月25日（火曜日）までに投函いただきますようお願いいたします。

【記入上の注意】

- ・鉛筆又はボールペンで記入していただき、間違われた場合は、消しゴムで消すか、二重線又は×印で訂正してください。
- ・設問の当てはまる番号を選んで、○印を指定の数だけ付けてください。また、「その他」を選ばれた場合は（ ）内等に具体的にご記入ください。
- ・アンケート調査につきましては、原則として、ご本人（封筒の宛名の方）がご回答のうえ、アンケート用紙に直接ご記入ください。障害のある方など自分で記入することが困難な場合は、ご家族などの方がご本人のご意見をお聞きになられたうえ、ご記入ください。
- ・視覚に障害がある方で点字版調査票又は音声読上げ版を希望される場合は、対応させていただきますので、以下の問い合わせ先へご連絡をお願いいたします。

【アンケート調査に関するお問い合わせ先】

京都いつでもコール（年中無休・朝8時～夜9時）

電話：661-3755 ファックス：661-5855

※ お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケート調査に是非ともご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

アンケート調査票

「お住まいの地域について」

問1 あなたが、親しみや愛情を感じ「自分のまち」だと最も強く意識する地域を次の中から1つ選び、番号に○印を付けてください。

- 1 京都市 2 住まいの行政区 3 中学校の校区
4 小学校の校区 5 自治会（町内会）の地域
6 その他（ ） 7 特になし

問2 あなたは、日常生活で、誰かの手助けを必要とした場合、家族や親戚以外の誰（どこ）を頼りにされますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○印を付けてください。

- 1 近所の方 2 友人 3 自治会（町内会）の役員
4 民生委員・児童委員 5 ボランティア団体
6 病院などの医療機関 7 ケアマネジャー
8 市役所や区役所などの行政機関 9 地域包括支援センター
10 その他（ ）

問3 日常生活で、あなたが手助けを受けたいと思われること、または受けておられることを、次の中から当てはまるものをすべて選び、番号に○印を付けてください。

- 1 おつかい 2 病気の時の看病や世話 3 安否確認の声かけ
4 長期外出の際などの郵便物の受取り 5 買い物時などの家の留守番
6 子どもの世話 7 悩みや心配事の相談
8 その他（ ） 9 特になし

問4 日常生活で、あなたが、地域のひとに手助けをしていることがあれば、次の中から当てはまるものをすべて選び、番号に○印を付けてください。

- 1 おつかい 2 病気の時の看病や世話 3 安否確認の声かけ
4 長期外出の際などの郵便物の受取り 5 買い物時などの家の留守番
6 子どもの世話 7 悩みや心配事の相談
8 その他（ ） 9 特になし

問5 あなたが、お住まいの地域は、つながりの強い地域だと思いますか。次の中から1つ選び、番号に○印を付けてください。

- 1 強い → 問6へお進みください。
2 どちらかといえば強い → 問6へお進みください。
3 あまり強くない → 問7へお進みください。

（問5で1（強い）又は2（どちらかといえば強い）と答えられた方にお尋ねします。）

問6 それはどのような理由からですか。当てはまるものをすべて選び、番号に○印を付けてください。

- 1 近所づきあいが密である
2 自治会（町内会）活動が活発である
3 体育会や盆踊りなど、地域行事が豊富である
4 地域のサークル活動が充実している
5 地域活動の中心となる人がいる
6 その他（ ）

※ 問7へのご回答は不要です。続いて問8へお進みください。

（問5で3（あまり強くない）と答えられた方にお尋ねします。）

問7 それはどのような理由からですか。当てはまるものをすべて選び、番号に○印を付けてください。

- 1 あまり近所づきあいが無い
2 自治会（町内会）活動が活発でない
3 体育会や盆踊りなど、地域行事が豊富でない
4 地域のサークル活動が少ない
5 地域活動の中心となる人がいない
6 その他（ ）

問8 あなたは、自宅の近くに地域の方々が気軽に集うことができる場所（居場所）があれば、どのようなことができればよいと思いますか。次の中から1つ選び、番号に○印を付けてください。

- 1 飲食しながら、おしゃべりができること
2 同世代の方と交流ができること
3 異なる世代の方と交流ができること
4 地域の歴史や文化について学ぶこと
5 趣味の活動ができること
6 その他（ ）

問9 あなたは、お住まいの地域の福祉の向上のため、地域で協力して、どのようなことに取り組んでいく必要があると思いますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○印を付けてください。

- 1 一人暮らしの高齢者への支援 2 子育てに悩んでいる家庭への支援
3 障害のある方への支援
4 その他（ ）

問10 あなたは、地域の福祉の向上のため、行政と市民はどうあるべきだと思いますか。次の中から1つ選び、番号に○印を付けてください。

- 1 行政の責任であり、市民が協力する必要はない
2 行政ができないことは市民も協力していくべきである
3 行政だけでなく、市民・地域も積極的に協力し取り組むべきである
4 家庭や地域が助け合い、できない場合に限って行政が援助すべきである
5 その他（ ）

「地域における災害時のそなえについて」

問11 地域における災害時のそなえとして、現在、あなたの地域で取組が行われていると思うことは、次のうちどれですか？当てはまるものをすべて選び、番号に○印を付けてください。

- 1 防災に関する学習会 2 日頃からのあいさつ、声かけや付き合い
3 防災訓練 4 ブロック塀など倒壊の恐れのある危険な箇所の把握
5 地域に居住する災害時要援護者（※）の把握 6 わからない
7 その他（ ）

（※）高齢者や障害のある方のうち、災害時に自力での避難が困難と考えられる方

問12 地域における災害時のそなえとして、あなたが行政の役割として期待することは、次のうちどれですか。次の中から2つまで選び、番号に○印を付けてください。

- 1 防災に関する学習会 2 支え合い・助け合いの体制づくりのための支援
3 防災訓練 4 防災情報の把握と地域への情報提供
5 災害時要援護者の把握 6 災害ボランティアの育成
7 その他（ ） 8 特に期待することはない

「地域福祉活動について」

問 13 この5年の間に、身近な地域における福祉活動について、具体的にどのようなことが活発に行われるようになってきたと思われますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○印を付けてください。

- 1 高齢者の見守り活動 2 高齢者サロン 3 子育てサロン
4 多世代交流活動 5 まちの縁側（誰もが集える居場所）
6 地域住民による生活支援活動 7 学生による地域活動への参加
8 災害時を想定した要援護者支援活動
9 その他（ ）

問 14 あなたは、身近な地域における福祉活動をしてみたい（している。）
 と思いますか、次の中から1つ選び、番号に○印を付けてください。

1. すでに活動している → (問 15, 16 を回答後、問 20 へ)
 2. ぜひやってみたいと思う → (問 17, 18 を回答後、問 20 へ)
 3. 条件が許せばやってみたいと思う → (問 17, 18 を回答後、問 20 へ)
 4. 特にやってみたいとは思わない → (問 19 を回答後、問 20 へ)

(問14で1を選ばれた方にお尋ねします)

問 15 あなたが活動に参加したきっかけはどのような理由ですか。
次の中から主なるものを2つまで選び、番号に○印を付けてください。

- 1 地域をより住みやすいものにしたかったから
- 2 社会や他人のためになる活動がしたかったから
- 3 友人に誘われたから
- 4 新たな友人・知人を得たかったから
- 5 やりがいを得たかったから
- 6 その他（ ）

(問 14 で 1 を選ばれた方にお尋ねします)

問 16 あなたは、多くの市民が、身近な地域における福祉活動に参加する
 には、どういったものが必要だと思いますか。次の中から2つまで選
 び、番号に○印を付けてください。

- 1 活動に対する情報の提供
- 2 活動や交流ができる場所の確保
- 3 活動についてアドバイスしてもらえ人材の確保
- 4 活動を必要とする人と活動をしている人との橋渡し
- 5 休暇の取得など職場の理解
- 6 その他（ ）

(問 14 で 2, 3 を選ばれた方にお尋ねします)

問 17 身近な地域におけるどのような福祉活動に参加してみたいですか。
次の中から当てはまるものをすべて選び、番号に○印を付けてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 高齢者への支援 | 2 障害のある方への支援 |
| 3 子育て支援 | 4 青少年の育成・支援 |
| 5 災害の被災者への支援 | 6 地域の清掃、美化活動 |
| 7 その他（ ） | |

(問 14 で 2, 3 を選ばれた方にお尋ねします)

問 18 あなたが、身近な地域における福祉活動に参加するには、どういったものが必要だと思いますか。次の中から2つまで選び、番号に○印を付けてください。

- 1 活動に対する情報の提供
- 2 活動や交流ができる場所の確保
- 3 活動についてアドバイスしてもらえる人材の確保
- 4 活動を必要とする人と活動をしている人との橋渡し
- 5 休暇の取得など職場の理解
- 6 その他（ ）

(問 14 で 4 を選ばれた方にお尋ねします)

問 19 身近な地域における福祉活動に参加したいと思わない理由は何ですか。次の中から1つ選び、番号に○印を付けてください。

- 1 仕事などのため時間がない 2 健康や体力に自信がない
3 活動するための知識や技術がない 4 身近に仲間がいない
5 活動についての情報や相談先がない
6 その他 ()

(図 19 で 1~4 を選んだ方にお尋ねします)

○ 身近な地域における福祉活動や市民活動についてどの程度ご存知ですか。次の中から1つ選び、番号に○印を付けてください。

- 1 団体の名称と活動の内容がわかるものが3つ以上ある
- 2 団体の名称と活動の内容がわかるものが1つ以上3つ未満ある
- 3 団体の名称を聞いたことがある程度で、具体的に何をしているのかは知らない
- 4 団体の名称を聞いたことはないし、具体的に何をしているのかも知らない

問20 あなたは、H頃、健康や福祉の情報をどこから得ていますか。
 〇ではまるものをすべて選び、番号に○印を付けてください。

- 1 市民しんぶん 2 新聞 3 区役所・大所の窓口や職員
4 社会福祉協議会の職員 5 民生委員・児童委員 6 同覧板
7 市のホームページ 8 友人や知人 9 家族や親戚
10 その他()

問 21 最後にあなたの自身のことについてお尋ねします。次の (ア) ~ (エ) の各項目について、それぞれいずれか1つを選んで、○印を付けてください。

- (7) 性 别 1 男 2 女

- | | | | |
|---------|--------|--------|---------|
| (イ) 年 齢 | 1 20歳代 | 2 30歳代 | 3 40歳代 |
| | 4 50歳代 | 5 60歳代 | 6 70歳以上 |

- (ウ) 居住地
- | | | | |
|-------|--------|--------|-------|
| 1 北区 | 2 上京区 | 3 左京区 | 4 中京区 |
| 5 東山区 | 6 山科区 | 7 下京区 | 8 南区 |
| 9 右京区 | 10 西京区 | 11 伏見区 | |

- (二) 職 業 1 自営業・自由業 2 会社員・公務員等給与所得者
3 主婦・主夫 4 学生 5 無職
6 その他()

お時間をいただき、誠にありがとうございました。同封の封筒でご返送
いただきますようお願い申し上げます（切手は必要ありません。また、
お名前やご住所はご記入いただく必要はありません。）。